

中山間地域で生活の利便性を高める多機能携帯端末活用促進事業  
【NPO法人 結まーるプラス・島根県西部県民センター】

取組の背景

- 日常生活を支える医療・公共交通・金融機関等の統合や廃止
- 加速度的に進行する少子高齢化による地域の担い手不足・環境保全活動など地域コミュニティ機能の低下
- 中山間地域での生活者が必要とする条件不利地に対応した情報の不足
- IT技術等の格段の進歩

事業概要

いわゆるタッチパネル的な要素で親和性の高いタブレットPCを通して、公共交通・気象・災害状況などの安全で安心な生活に必要な情報が迅速に入手できるよう支援し、タブレットPCを体験・講習できる場所と機会を設定し、高齢者やパソコンに不慣れな方が多い中山間地域で生活の利便性を高めることを目的とします。

実施団体と行政それぞれの役割分担

- N P O : 1.雇用人材管理 2.マニュアル・ツール類作成 3.体験・講習会の実施・運営 4.告知・広報
- 行 政 : 1.石見圏域の議会事務局等多様な組織とのコーディネート 2.学生マルシェとの調整 3.事業実施及び継続に向けての様々な情報提供と対応 4.告知・広報

主な事業内容

- (1) 中山間地域で発揮できる人材育成活動
- (2) 中山間地域で生活の利便性を高めるタブレットPC操作等講習会活動  
場所：さくらえサロン（JR三江線川戸駅舎内）
- (3) 石見地域の公民館等の地域活動団体の要請に応じて、出前講習会活動。
- (4) 利用促進事業の成果を高めるために、事業の状況や周辺環境についての調査・研究活動
- (5) 実施活動の成果について、周知を図り、理解を深める「活動成果発表会」の実施

事業の主な成果

- ①体験・講習会（桜江）  
体験者数・講習会参加者数  
（目標：594名）→（成果：727名）
- ②出前講習会  
講習会参加者数  
（目標：216名）→（成果：278名）
- 合計  
（目標：800名）→（成果：1005名）
- ③学生マルシェさんとタイアップ  
出荷（目標：8回）→（成果：22回）  
情報発信（目標：32回）→（成果：23回）

工夫・ノウハウ

- (1) 先進事例等の調査・研究を行ったことにより、講座内容やマニュアル制作など効率的に行う事ができた。
- (2) シンポジウムや取材時など、PRできるあらゆる機会や場を使い、事業告知を行なった。
- (3) FBや、HP等を活用し講座の様子等を写真や文章で報告した。
- (4) 学生マルシェとのタイアップや、島根県立大学生がインストラクターとして参加してくれたことで、活動の幅が広がった。

今後の活動方針

来年度においても、活動が継続できるような方法を、情報を収集しながら、検討中です。  
内容的には当事業で培ったスキルやネットワークを活かして中山間地仕様のアプリ開発を目指したい。